

横内醫院(東京都中野区)で院長として活躍している当町出身で医師の横内正典氏が、12月22日(月)小野町長を訪問しました。横内氏は、ふるさと納税寄附金「500万円」の目録を町長に贈呈しました。

横内氏は「私を小中学校時代の9年間育ててくれたふるさと中泊町。今の自分があるのはこの町のおかげだ。ふるさと納税制度がある今が恩返しのとときと考えている。この町の子どもたちのためにぜひ役立ててほしい」と寄附の目的を伝えました。

町長は「先生の故郷への思い、本当に感謝いたします。町では来年度から保育料や中学3年生までの医療費の無料化など子育てに力を入れます。ぜひ、これらの事業に活用させていただきたい」とお礼の言葉を伝えました。

横内氏は、昨年度に「もったいない町民大会」で「短命県から長寿県の青森県へ」と題した講演を行い町民の皆さんに健康維持のポイントを紹介しました。町へは2年前からふるさと納税を寄附、3年間で1,800万円の寄附金となりました。また、同氏は当町のほか、東日本大震災でも、いち早く被災地へ義援金を送るなど尽力しています。



小野町長に目録を手渡す横内正典氏

## リサイクル活動へ評価

「めんだりカッチャの会」  
が受賞を喜ぶ

もったいない・あおもり県民運動推進大会が、12月17日(水)青森市で開催されました。ゴミ減量やリサイクル推進などをテーマに行われ、功績があった団体・個人が表彰されました。当町からは、福祉ボランティア「めんだりカッチャ」の会(会長・葛西美奈子)が、「もったいない・あおもり賞」を受賞しました。同会は、空き缶やペットボトルの回収による売上金で、老人施設などに車いすの寄贈をはじめ、障害者施設にペットボトルのふたを提供して外国へのワクチン寄附活動に協力したことが評価されました。



1月25日(日)に町中央公民館で集まった会員たちへ報告会を行い、受賞を喜びました。また、この日はヨガ教室も開催し、活動に欠かせない健康維持にも取り組みました。葛西会長は「今年は活動20年の節目。県や町から各賞を受賞し、自分たちの活動が評価されて本当にありがたいこと。年に1回しか全員の顔は見られないが、一緒に喜び意見を出し合い、今後の活動へ役立てたい」と話していました。

